

第3回生徒サポート部会 議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

1 第2回の協議内容（振り返り）

(別紙参照)

○ 議事録の確認

2 今回の協議内容等

<生徒への支援について>

○北星学園大学学生さんとの交流の場を企画

→まずは少人数での取り組みを実施してみたい。イベントの企画を学生さんにお願いし、高校生と関わる時間を計画する。

・事前指導のための打ち合わせを大友教授、学生数名で高校を訪問。

→そのための日程調整を高校から提案。

・その他の活動について

→特性を持った生徒への関わり。特性も強みと考え、学生とともに問題を可視化しながらSSTなどを実施する。小規模でやってみるのはどうか。大友先生が指導。

・江別市内の他大学の学生も一緒に活動することは可能か？

→企画内容のベースができると各大学にも声をかけやすくなるのではないかな。

<教職員への支援について>

・お互いを理解しにくい（特性を持った）生徒たちの小さな揉め事が多発している。

それぞれの特性や状況に応じた対処法など学びたい。

→佐々木委員から講師を紹介していただき、先生方の研修を企画。

日程調整を行い、具体的な困り感、学びたい内容を共有し、内容を決定

3 年間のスケジュール

・生徒サポート部会の最終的なゴール（目標）は何か。残りの任期でどこまでの道筋を残して終了できるのか。

→・地域と学校が一体となり生徒を育てる学校づくりが目標。

・そのためのコミュニケーションスキルや人間力の向上に向けた取り組みを検討する場として生徒サポート部会の存在が必要。

・スタートは学校内でのコミュニケーションスキル向上のための企画がメインとなるがゆくゆくは地域連携部会がコンソーシアムを活用した学びの場を企画するように、生徒サポート部会も校内校外どちらでも学べるような場所や企画を行えるようになれば良いのではないかな。

活動のねらい

生徒サポート 活動内容

- ・生徒の自己指導力や自己肯定感の向上のため、心身の健康及び安全に係る活動について助言や支援を行う。
- ・生徒の社会的自立に向けた効果的な教育活動の在り方について助言や支援を行う。
- ・支援を要する生徒への効果的な対応について、地域と連携した取り組みについて助言や支援を行う。